

JAWRO 企画講演座長報告

京都大学医学部附属病院 放射線治療科 宇藤恵

この度、2021年11月13日に日本放射線腫瘍学会第34回学術大会においてJAWRO企画講演の座長を、東京都済生会中央病院 放射線治療科 内田 伸恵先生と共に務めさせていただきましたので、ご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症を考慮し、日本放射線腫瘍学会第34回学術大会は昨年と同様ウェブ上での開催となりました。本講演もオンライン開催となり、ライブ配信に加えオンデマンド配信も実施されました。JAWRO会員の皆様とface to faceでお会いすることは残念ながら叶いませんでしたが、好きな時に好きな場所で聴講できるメリットは大きいと改めて感じました。

今回は渥美坂井法律事務所・外国法共同事業 由布 節子先生より、「あなたらしくー国際弁護士の見た、女性専門職のダイバーシティとキャリアデザイン」というテーマでご講演いただきました。由布先生のご専門はEU関連、独禁法、企業コンプライアンス及びガバナンスであり、競争法フォーラム、公益財団法人公正取引委員会の理事をお務めであり、かつ数々の素晴らしい受賞歴をお持ちの大変ご高名な先生です。

ご講演では国際弁護士である由布先生がこれまで経験されたエピソードをふまえ、欧州・アメリカ・日本における女性をとりまく環境や、聴衆に対する暖かい応援メッセージを中心にお話をいただきました。40年前の「女は要らない」という状況は欧州・アメリカ・日本のいずれでもありますが、その内情は、例えば欧州では徹底した夫婦別産制といったように、地域により女性の立ち位置は異なっているという側面について、大変わかりやすくご説明いただき、理解することができました。時は流れ、最近では多様性というキーワードを日常生活においてよく耳にするようになり、法律事務所においてもパートナーの男女比率やダイバーシティの進捗状況が国際的な大型案件の入札条件となっているそうです。最後に女性およびプロフェッショナルとして大切なことをユーモアも交え丁寧にお話いただき、多くの学びとエールをいただきました。ご講演いただきました由布先生に厚く御礼申し上げます。

オンラインにて本講演を実現していただきました日本放射線腫瘍学会第34回学術大会大会長の根本建二先生、大会関係者の皆様、またご協力いただきましたJAWROの皆様から心より感謝申し上げます。